

機械設備が使用される目的、用途	・機械設備が使用される目的、用途	機械設備の仕様書等から目的、用途を明確にする。	危険源の同定
	・機械設備が使用される目的、用途で想定される作業等	機械設備の使用段階だけでなく、すべてのライフサイクルにおける作業等について明確にする。	危険源の同定
	・合理的に予見可能な誤使用	表2も参考にして、合理的に予見可能な誤使用が起り得る場合を明確にする。	危険源の同定
	・機械設備やソフトウェアの予見可能な機能不良に伴う人の行動	機械設備やソフトウェアで起こりうる機能不良に伴う人の行動を明確にする。	危険源の同定
機械設備に関わりを持つことが想定される人	・直接機械設備を操作する作業だけでなく、保全作業、その機械設備に関連する作業、見学者等の合理的に予見可能な、機械設備に接近する可能性のある第三者	どのような人がどのような状況になったとき、機械設備に接近する可能性が出るかを明確にする。	危険源の同定
	・通常の機械作業、その機械設備の取り扱いに関する訓練受講者等、機械設備を使用することが予想される人の熟練度、経験年数、作業能力等のレベル	基本的には仕事に携わる可能性のあるすべての人の能力を考慮する。	リスクの見積り
	・機械設備を使用する人間のさまざまな能力・特性(視覚又は聴覚などの五感の状態、体形、体力、年齢、性別、利き手など)	基本的には仕事に携わる可能性のあるすべての人の能力を考慮する。	リスクの見積り
機械設備の使用が想定される期間	・機械設備のライフサイクル(機械設備が製造され廃棄されるまで:表1参照)	機械設備のライフサイクルの具体的な各段階を明確にする。	危険源の同定
使用を想定される場所	・機械設備が使用される場所	使用される場所を明確にする(温度、湿度、高さ等の条件も考慮する)	リスクの見積り